

姉妹都市

ラ・ミラダに行ってみませんか？

伊勢原の姉妹都市であるアメリカ合衆国、カリフォルニア州のラ・ミラダ市への少年野球交流事業は昭和58年から始まり、この30年余の間に15回に及ぶ訪問をおこなっています。参加選手数は500名弱を数えています。前回の平成26年は伊勢原市のバックアップを得て、市内の少年野球各チームから23名の子どもたちがチームの垣根を越えて、「伊勢原市の代表」としてラ・ミラダの子どもたちと交流してきました。お子さんに、貴重な体験をさせられる絶好のチャンスです。参加について、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

「親もとを1週間以上も離れるなんて、うちの子には…」とお感じでしょうか、子どもたちは順応性が早く、現地での様々な経験を通して、ひと回りもふた回りも大きく成長することは間違いありません。こうした体験はお金では買えない一生の宝物になると確信しています。事実、過去に参加した子どもたちからは、もう一度行きたいという声が多く聞こえてきます。

しかし、生活面や健康面など保護者の皆さまには心配があらうかと思えますし、経費も少額ではありません。そうした疑問点や不安な部分を少しでも解消していただくために、訪問の概要についての説明会をチーム単位でおこなう予定です。保護者・選手・チーム関係者の別を問わず、興味関心のある方、ちょっと話を聞いてみようかなという方々にご参加いただきたいと考えています。

説明会については、別途ご案内いたします。

（前回の内容を元にしたおおまかなプランです）

1. 日程 8月後半の10日間程度
2. 訪問先 アメリカ合衆国 ラ・ミラダ市
3. 参加対象 28年度の5・6年生、中学1年生、
および保護者、その他希望者
4. 費用 基本料金 約20万円 オプション代 約10万円

内訳（航空機代、現地バス代、ホテル宿泊費、食費、観光費、日本国内の移動貸切バス代など）

なお、オプションについては参加者の意見を採り入れ決定したいと思います。

5. 滞在中の ラ・ミラダではホームステイ（2人1組で6泊程度）

過ごし方 交流試合3試合、市内施設見学、メジャーリーグ観戦

ロスアンゼルスディズニーランドの1日、グランドキャニオン見学等々

（グランドキャニオンではホテルに宿泊） 斜体文字がオプション

6. 事前活動 語学や現地（ホームステイ先）での生活についての、事前活動（勉強会や硬式球に慣れる練習など）をおこないます。

〔ラ・ミラダ市〕

市制施行日 1960年3月23日

人口 51,754人 面積 約20平方キロメートル（2010年秋現在）

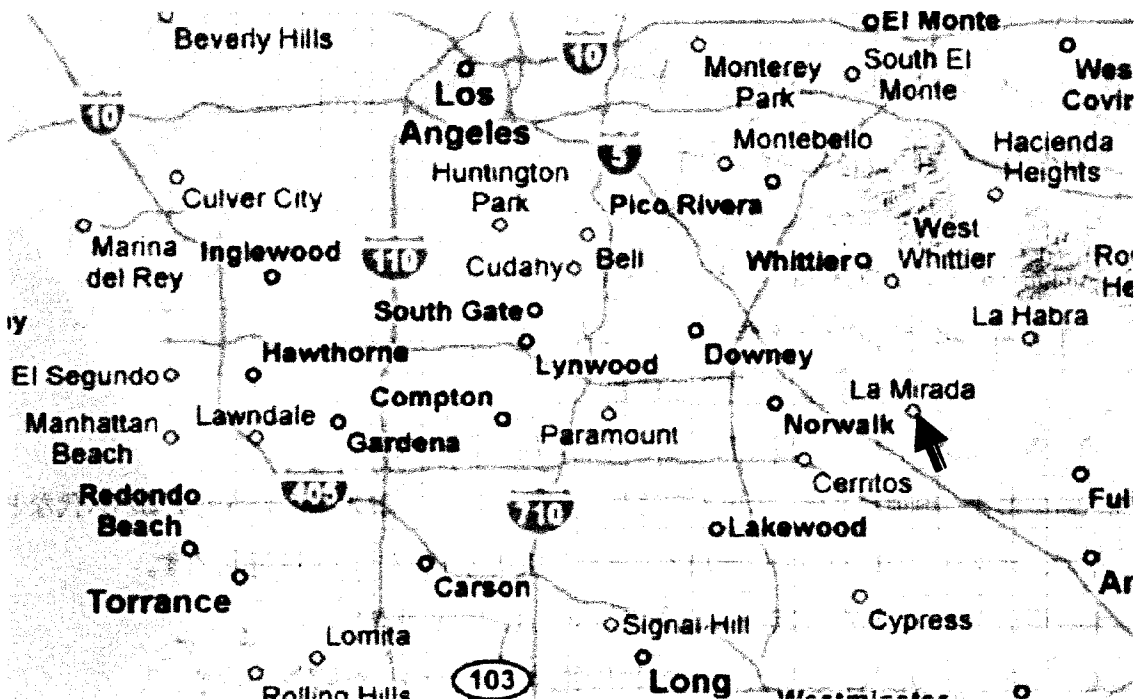
ラ・ミラダ市は、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市の南東約30kmに位置し、経度で見ると伊勢原市より少し南にあり、気候は温暖です。1960年の市制施行当初はピーナッツやオレンジ、イチゴなどの栽培を主とする農業都市でしたが、近年は工場の進出により工業団地が造られました。また、ロサンゼルス近郊ベッドタウンとして住宅街が長期の都市計画に基づいて整備され、大都市近郊都市として発展しています。

アメリカには独立都市と契約都市があり、人口10万人未満のラ・ミラダ市は契約都市として市の業務の一部であるごみ収集、消防、保健所などをロサンゼルスカウンティ(郡)に委託しています。また、5人の市議会議員の中から1年任期で市長が選ばれ、市政を担当しています。

ラ・ミラダとは、スペイン語で「景勝の地」を意味し、その名のとおりに緑が多く、居住地域には美しく広い街路とグリーンベルトが続いています。

伊勢原市は、昭和56年(1981年)9月21日に姉妹都市提携を結び、調印式をラ・ミラダ市ネフパークにておこないました。

(伊勢原市国際交流委員会だよりから抜粋)



〈お問い合わせなどは…〉

伊勢原市野球協会学童部理事長 村上正 090-3249-1129